

【刊夕】日四十二月六



日曜大祭日 休  
月曜 二五  
火曜 二五  
水曜 二五  
木曜 二五  
金曜 二五  
土曜 二五  
日曜 二五

### 不景氣でも殖えてる

#### 平町今年の賦課戸數 特戸割は四七五八戸に 一戸平均一五圓九七錢

既報明廿五日招集の平町會の相對減少は率に於て前年は昭和六年度の特別稅戸數と略ぼ一致するものとなつたが、及び土木費の更正豫算でたので所得額が前年あるが戸數割の賦課決定戸數は四千七百五十八で前年額に大差はないが總體から見ると一般市民負擔は所記の賦課總額七萬六千圓一戸平均十五圓九七錢は昨年千六百五十戸(平均十六圓)の十七圓八十九錢より一割に減るも尚ほ

### 比較し 卅一戸増

の賦課總額七萬六千圓一戸平均十五圓九七錢は昨年千六百五十戸(平均十六圓)の十七圓八十九錢より一割に減るも尚ほ

### 前年に 比して一割

八毛に當る二十五萬三千三百六十二圓を減じ賦課額の一として六十戸以上の増加で割四厘並に所得額一割八毛あると

### 折角の名案も無駄

#### 電話番號簿の廣告

#### 郵便局も今更の様に驚く

#### 深刻なる平地方の不景氣

逓信省では収入減を埋め合での豫定を以てせる一策として本年度から 最初之れが掲載申普通電話番號簿に一般の廣告の受付をなすと高くとも告掲載を案出し平局に於てつてゐたが更に希望の氣配も去る十一月から今月末まがないので各戸勧誘に努力

### 相變らず 男が賣れぬ

#### 町職業紹介所

平町の職業紹介所は職業の爲め失業者に一片付を見せ本月中旬中旬合開散であつたが田植も終る此頃求職者が日に増加して去る廿二日頃から毎日四、五名の申込を見せ漸次同方面の殺到を想像されルンペンは土木學業でもあれば容れられるが普通の氷人口としては依然何等の反應を見られず世の不景氣なるものが斯くまで深刻であらうかと今更の盛りの男の賣れないのに困り切つてゐる

### 本年の春繭出來榮え

#### 平均糸量十一匁五分

#### 氣遣はれる後場落にも

#### 買馴廿七圓は下るまい

石城郡に於ける春繭產高はもの引續いて平窪、草野、小既報の如く大體十萬貫と稱川その他山手方面の夏繭にされてゐるが、本年の出來及ぶのであるが繭價が此の榮えは近年稀なる成績で糸程度であれば過産を氣遣ふ量解除共に頗る良く平均十一匁五分は出るものと見られてゐる之れに對して

### 製糸家

立場から精々十一匁二分と見積る二十三割を標準としてあるのば、製糸家の出廻り盛りに於ける後場落を氣遣はれてゐるが買馴の上から買馴れ二十七分を下るまいと唱ひられ地方の

### 遅番場

出前は永戸澤渡、三坂、川前等の來月

### 廿五 飯野校長

#### 同校に十八年

#### 勤続長谷川氏

平第二小學校首席訓導長谷川政氏は本縣師範第二部第四回卒業後の大部分である十五年三月月を同校に勤続したが今回石城郡飯野校長に榮轉したので近く赴任の

### 石城の 春繭市況

四倉、植田繭市場に於ける昨廿三日の取引左の如し 四倉繭市場、白繭總量二〇四貫、最高三圓十五錢、最低二圓七十六錢、買馴二圓九十五錢、賣馴八十九錢、最低二圓四十九錢、買馴二圓七十六錢以上相場はいづれも廿五掛

### 言葉巧みに 騙り歩く

常習者の眞木茂取調べらる

### 高四十尺から 買馴

左官職の奇禍

お客の様子ではハテ御身分商多く奢侈を競ふもの多かある方らしい定かごもありしと云へば此辻かごに召度ころもがへして氣分爽快はオ、衣更へした様な姿をか知れぬソレなら吉原よりアノ女に見せに行かるとは深川の尾花屋あたりへかへい且那北ですか南です

### 俳句

#### 卵の花垣(三)

#### 満壽莊主人

### 寝相の 悪い母親

嬰兒を室死

市に軽く町村に重い

### 軍艦本會で 艦上點呼

#### 來月廿五日

#### 小名濱巡航

小名濱に於て執行の本年の艦上點呼は來月廿五日から三日間軍艦本會巡航の例に例年の通り便乘並に觀覽を許可されるが希望者は本月廿六日まで町役場兵事係宛申込み

### 市に軽く町村に重い

本末顛倒の遣り方

### 石城郡から苦情が出る

平町外卅三ヶ町の村の家賃賃格調査第二次委員會は賃紙所報の如く縣の修正額より約八千圓を減じて縣へ廻付したが之と同時に附帯決議として左の如き意味の申達をなす事となつた

即ち本年度の縣の減額歩合は福島、若松、郡山の各市にあつては六分減を漸行し乍ら石城郡に對しては四圓の事情より推し

お客の様子ではハテ御身分商多く奢侈を競ふもの多かある方らしい定かごもありしと云へば此辻かごに召度ころもがへして氣分爽快はオ、衣更へした様な姿をか知れぬソレなら吉原よりアノ女に見せに行かるとは深川の尾花屋あたりへかへい且那北ですか南です

浦井組左官職密藤八(五)は昨廿三日午後三時頃同町出町の新藤屋旅館新築工事場で作業中過つて高さ約四十尺より墜落頭が骨を骨折し高久病院へ昇ぎ込んだが生命覺束ない

添發中背部を以てまさの鼻口を壓し窒息死せしめられたが過失致死罪に問はれ目下取調へ中

軍艦本會で 艦上點呼 來月廿五日 小名濱巡航

小名濱に於て執行の本年の艦上點呼は來月廿五日から三日間軍艦本會巡航の例に例年の通り便乘並に觀覽を許可されるが希望者は本月廿六日まで町役場兵事係宛申込み

石城郡内郷村大字宮宇町田一二番城炭礦長屋居住坑夫 樋渡眞次郎の内縁の妻錦木まつみ(三)は去る廿三日午前四時ごろ長女まさ(二)と係宛申込み

平町外卅三ヶ町の村の家賃賃格調査第二次委員會は賃紙所報の如く縣の修正額より約八千圓を減じて縣へ廻付したが之と同時に附帯決議として左の如き意味の申達をなす事となつた

即ち本年度の縣の減額歩合は福島、若松、郡山の各市にあつては六分減を漸行し乍ら石城郡に對しては四圓の事情より推し

お客の様子ではハテ御身分商多く奢侈を競ふもの多かある方らしい定かごもありしと云へば此辻かごに召度ころもがへして氣分爽快はオ、衣更へした様な姿をか知れぬソレなら吉原よりアノ女に見せに行かるとは深川の尾花屋あたりへかへい且那北ですか南です

お客の様子ではハテ御身分商多く奢侈を競ふもの多かある方らしい定かごもありしと云へば此辻かごに召度ころもがへして氣分爽快はオ、衣更へした様な姿をか知れぬソレなら吉原よりアノ女に見せに行かるとは深川の尾花屋あたりへかへい且那北ですか南です

# 稲の植え方

## 「挿秧」に就て (三)

若し田形が正角形ならずして最後に秧の一端が畦畔につかへ能はざる範圍に秧の桁を内方に一桁若しくは二桁を進めて挿す尚ほ畦畔の形状により一、二尺巾の殘餘又は秧の入りざる田の隅々等は挿す必要なきを以て其まゝに止む而して此種はし法は最初一、二尺の田にて一時間も繰返し練習すると必ず相當に初年から轉ばし得る、第二の方法は「ガヂ」引き若くは跡車引きなど、稱するものであるが其機械は至極簡單にして何れも自家自製にて間に合ふけれど縦筋と横筋と二回に其跡を付けざれば縦横正條にならぬ故跡付の勞力前記の種に比し殆んど二倍の勞力を要するを以て或るべく種の使用を勧めたい然し此方法も昨今各地に行はれて居る其効果はわくの跡付と何等異なる點はない唯だ跡付の勞力關係のみである今其造り方及び使用法を簡單に述べれば普通三寸の「ぬき」を六七尺に切りそれに真竹を一尺五寸位に切りたるものを七分巾位に割り之れを前のぬきに植巾八寸に爲さんとする時は八寸距離に竹の一端を打つて大熊手形の様なものが出来るそれに適當

なる八尺位に可持柄をつければそれで出来る

ガソリン  
モビール油  
日本石油株式会社

特約販賣  
屋間油  
店商内關

支店 郡山市 電話三三八  
支店 茨城県 電話三三八  
支店 平町四丁目 電話三三八

電話三三八  
平町四丁目  
郵便局

スペイン-G.H.N元詰  
甘味葡萄酒  
ゴルフポートワイン  
¥ 1.10

御輸入の方には少し水を加へて召し上るご風流—そや佳良です

(平二) 西村屋藥舖

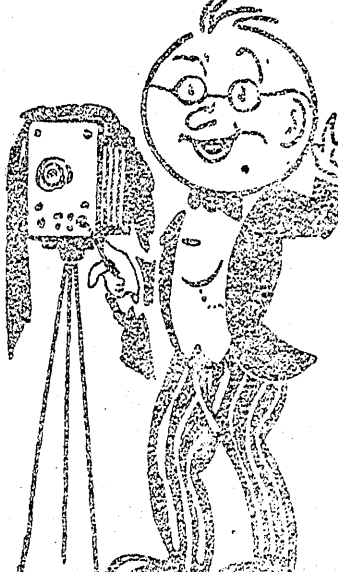
そばからの枕は頭の爲には一番良いと申されて居ります

そばから三升 そばこ八錢 そば一五錢

平町土橋 福麥マルマン商店 電話四八九番

親切と迅速をモットーとする

大野寫眞館



寫眞の御用命は當館へ

内科 平町南町  
小兒科 大森醫院  
醫學士 大森 勇

入院 電話二五八番

諸毒下シの大妙藥  
安流丸

持約 山野邊藥局

内科、小兒科 平町、電話五二三番  
外科、花柳病科 高久病院  
耳鼻咽喉科  
レントゲン科 院長醫學士高久忠

眞品の位本  
味噌醬油  
正宗  
山崎會社

御進物には  
商品切手

電話 釀造部 二七番  
營業部 一〇番

矢野恒太序 大内民惠著  
服部宇之吉

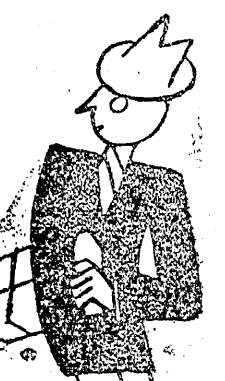
教育 改革 概論  
發行所 東京市丸の内 日本評論社  
取次所 内 石城部 内郷村報社

本書は曾て本紙にも連載せる大内民惠の提唱を以て行計れる現代の教育制度を解剖し學理と實際、歴史と實驗とから著者が眞しつ愛國の大精神を説く國民必讀の書

模範 裁縫 高島屋の洋服

春着の御用意は 高島屋へ

平町驛前 電話三八六番



破格の大勉強  
の新しい書店

舊塾中校下 乾商店跡に

新品 書籍 雜誌 中等教科書一式  
中等學校參考書 小學參考書  
ノート 雜誌 一般文具  
諸帳簿紙類 高級萬年筆

平町搔地小路 コマツ書店  
電話三一五番  
振替東京三五八〇八番

高島屋の良品

平町驛前

醫院開業

私儀今般左記場所を醫院を開業一般診察に従事致すべく候

平町新川端(釜屋新宅向)

難波醫院  
醫學博士 難波 睦

電話五〇二番

内科一般 午前宅診(午前九時より) 午後往診  
但し急患は此限りに非ず